

作品
募集中

生命

いのち

第9回

を見つめる フォト&エッセー

生命の大切さや
心温まるエピソードを
写真やエッセーで
伝えてみませんか

両部門に
賞を新設

応募締め切り

2025年
10月3日(金)
必着



フォト部門

生命の尊さを感じさせる、
あるいは生命の輝く瞬間を
とらえた作品を募集します。

最高
賞金 **10** 万円

審査員 (順不同、敬称略)



熊切大輔
日本写真家協会会長



岩合光昭
動物写真家
©Machi Iwano



奈緒
俳優 他

エッセー部門

医師や看護師との交流、ご
家族の介護や生命の誕生に
まつわる話などを募集します。

最高
賞金 **30** 万円

審査員 (順不同、敬称略)



養老孟司
東京大学名誉教授
/解剖学者



玄侑宗久
作家 / 福聚寺住職



水野真紀
俳優 他

公式ホームページ <https://jigyuu.yomiuri.co.jp/photo-essay/>

生命を見つめるフォト&エッセー 検索

主催: 日本医師会、読売新聞社

後援: 厚生労働省、文部科学省

協賛: 東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社



フォト部門



生命の尊さを感じさせる、あるいは生命の輝く瞬間をとらえた作品を募集します。人、動物、自然など被写体は自由です。

- 作品のプリントサイズは、キャビネ判(2L)とします。
- 応募作品は、2022年6月1日以降に撮影したものに限りです。
- 応募は1人3点まで。生成AIを利用して作成・編集した作品は応募できません。



一般の部

- 厚生労働大臣賞(1点).....賞金 10万円・賞状他
- 日本医師会賞(1点).....賞金 10万円・賞状他
- 読売新聞社賞(1点).....賞金 10万円・賞状他
- 東京海上日動賞(1点).....賞金 10万円・賞状他
- 審査員特別賞(数点).....賞金 5万円・賞状他



小中高生の部

- 文部科学大臣賞(1点).....QUOカード 3万円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点).....QUOカード 5千円分・賞状他

エッセー部門



病気やけがをした時の医師や看護師との交流、ご家族の介護や生命の誕生にまつわる話などを募集します(お世話になった医師や看護師らに宛てた「感謝の手紙」などでも可)。

また、医師(医学生も含む)の皆さんからは医師になろうと思ったきっかけやエピソードなどもお待ちしています。

小学生の部では、日々の生活の中で生命の大切さを感じた出来事などをお送りください。

- 【一般の部・中高生の部】.....2,000字(原稿用紙1~5枚)以内
- 【小学生高学年の部(4~6年生)】.....1,200字(原稿用紙1~3枚)以内
- 【小学生低学年の部(1~3年生)】.....800字(原稿用紙1~2枚)以内
- 応募は1人1点。生成AIを利用して作成した作品は応募できません。



一般の部

- 厚生労働大臣賞(1点).....賞金 30万円・賞状他
- 日本医師会賞(1点).....賞金 30万円・賞状他
- 読売新聞社賞(1点).....賞金 30万円・賞状他
- 東京海上日動あんしん生命賞(1点).....賞金 30万円・賞状他
- 審査員特別賞(数点).....賞金 10万円・賞状他



中高生の部

- 文部科学大臣賞(1点).....QUOカード 3万円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点).....QUOカード 5千円分・賞状他



小学生高学年の部

- 文部科学大臣賞(1点).....QUOカード 1万円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点).....QUOカード 5千円分・賞状他



小学生低学年の部

- 文部科学大臣賞(1点).....QUOカード 5千円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点).....QUOカード 3千円分・賞状他

応募規定

- 応募作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品に限りです。
- 盗作・二重応募・類似・事実ではない創作作品の応募は固くお断りいたします。
- 応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。
- 応募作品は返却いたしません。
- 入賞作品の発表は、2026年2月頃を予定しています。新聞紙面およびウェブサイト、作品と実名・年齢・顔写真・学校名(小中高生の場合)を掲載します。ペンネーム、イニシャル等による発表はできません。
- 表彰式は2026年2月に東京都内で実施予定です。
- 医師および医療従事者も応募可能です。※応募規定の詳細は公式ホームページをご確認ください。

応募方法

- ウェブからの応募も可能です。詳細は公式ホームページ(<https://jigyoku.yomiuri.co.jp/photo-essay/>)をご覧ください。
- エッセー部門は、直筆の場合、鉛筆(Bまたは2B)・ボールペン・万年筆のいずれかを使い、濃く書いてください。
- 郵送の場合は、作品に下記の応募用紙をつけて封筒に応募部門を記載の上、送付してください。



公式ホームページQRコード

お問い合わせ

読売新聞東京本社 社会貢献事業室「生命を見つめるフォト&エッセー」事務局
TEL: 03-3216-8598 (平日10:00~17:00)

作品送付先: 〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-5 共同ビル3F「生命を見つめるフォト&エッセー」係

応募用紙

応募部門

フォト部門
一般の部

フォト部門
小中高生の部

エッセー部門
一般の部

エッセー部門
中高生の部

エッセー部門
小学生高学年の部
(4~6年生)

エッセー部門
小学生低学年の部
(1~3年生)

題名	ふりがな	氏名
住所	都 道 府 県	年齢
Mail	@	Tel () -
職業(学校名)		
フォト部門のみ	撮影年月日	撮影機材
202 年 月 日		

確認の上 チェックを 入れてください	☐ この作品は他のコンクール、コンテストなどに応募したものではありません
	☐ この作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品で間違いありません
	☐ 入賞作品は、主催者・協賛社のホームページ、読売新聞紙面などに実名・年齢・作品・顔写真等を発表する他、作品に関する取材があることに同意します
	☐ (フォト部門)被写体の肖像権やプライバシーの侵害、事実関係に問題ありません
応募の きっかけ	[1] チラシ(どこで:) [2] 学校(小・中・高・大・専門) [3] 読売新聞紙面 [4] 公式ホームページ
	[5] 日本医師会(ホームページ・YouTube・LINE 公式アカウント) [6] 公募サイト(サイト名:)
	[7] その他(具体的に)

応募締め切り

2025年
10月3日(金)
必着

入賞作品についての著作権
フォト部門は撮影者に帰属します。
エッセー部門は主催者に帰属します。
両部門とも、入賞作品について、読売新聞紙上及びその他
広報物に使用する権利は、主催者が有します。

※氏名は実名のみの受付となります。応募用紙をフォト部門は写真の裏側に、エッセー部門は作品の右上に留めてください。1作品に1枚、応募用紙が必要です。